



414  
A 86



壬申十月英國倫敦モンスブックト云新聞ニ日本ノ時状  
 ヲ論セリソノ文ニ曰ク日本ニテハ非常ニ政體ヲ改革アリ其  
 開化ノ神速ナル實ニ驚クベシ是マテ盛ニ威權ヲ振ヒ驕  
 傲ナリシ士族モ農商ト同一ノ權トナリ常ニ帯ル所ノ双刀  
 モ無用ノ重荷トシ之ニ代ルニ流行ノ蝙蝠傘ヲ以テシ  
 潤袖翩翩ノ日本服ヲ捨テ尤粗末ナル洋服ヲ着用セ  
 リ國帝ハ是迄深宮ニ居ラレ甚タ尊重ニシテ偶出幸  
 ノ節ハ人民地ニ拜伏セシガ立拜ヲ許サレ馬車ニテ屢出

大  
 限  
 丁  
 候  
 十  
 一  
 年  
 四  
 月

正  
 元



幸シ遊覽アリ猶鳥ノ籠ヲ出ルカ如ク大ニ自由ヲ得  
ラレタリ又士族ハ農商ト通婚スルヲ得穢多非人モ平民  
トナリ奴隸ノ乘馬婦人學問及ヒ洋行ヲ許サレタリ日々新規  
ノ政令出テ變革ノ速ナル實ニ魔法ヲ使フカ如シ然レモ種々  
旧弊ヲ一洗セント欲シ其是非善惡ノ弁別ナク一意洋法ヲ  
模倣スルノ景況ニシテ人民亦洋物ヲ喜ビ其良否ヲ問  
バ之ヲ貴重スルノ風アリ

一此節日本ヨリ夥シク各國へ留學生徒ヲ出セリ

横濱ヨリ歐米各國へ日々ノ如ク出帆セル蒸氣船ノ  
中十二八九ハ洋行ノ生徒ナリ本國ニテ未タ其國十分  
ノ學問モナク又他國ニ留學スル一二年僅ニ其一班  
ヲ窺ヒ得テ歸國セントス然ルヲ政府ニテハ都テ人材  
心得大ニ之ヲ貴重シ高官ニ用ユベシ而シテ生徒ハ己レノ  
洋行セシニ誇リ是マデ洋行セサル人ノ耳目ヲ嚇シ必ズ  
驕慢ノ氣ヲ生セン今ニ三季ヲ經バ如此淺學不熟  
ノ生徒日本ニ充滿シ米國ニ行タル者ハ共和政治ヲ

是トシ英國ニ行タル者ハ君民同治ヲ是トシ其他各  
國ニ行タル者亦然リ各其目擊自慣スル所ヲ是トシ  
己ノ説ヲ主張シテ互ニ意見ヲ争ヒ遂ニ統一スル所  
ナカラシ而シテ如此ノ輩モシ改権ヲ執ラバ國政上ニ於テ  
大ナル違亂ヲ生セシ然レ幸ニ造物者之ヲ助クルヤラ  
シカ

ニ今日本ノ失策ハ本國ニテ教育至ラズ不熟ノ生徒  
ヲ洋行セシムルヨリ大ナルハ無シ尤是マデ多クノ學

校アリ生徒ヲ入學セシメ試験ノ上成業ノ者ハ洋行  
ヲ許スノ規則ニテ生徒ヲ勧誘シ政府ニテハ洋行ノ上  
歸國スレバ大ニ利益アル可ノ見込ナリ試験ハ善ト  
雖モ首府東京ニ於テスラ未ダ完全ノ學校コレナ  
シ今南校ニテ米人ヲ雇ヒ入レ教師トナスト雖モ未ダ  
十分ノ學制立ズ又教師ノ外日本ニテ教官トナル  
人ナシ又之ヲ管轄スル文部省ハ種々ノ業ヨリ出  
シ混淆ノ官員ニシテ生徒ヲ試験シ後來ノ成否

ヲ見ふる人ナシ

一全權公使ノ各國ニ使ヒスル機會ヲ失ハズ其利  
益ヲ得タリ公使一同暫ク英國ニ留リ戰隊及ビ武  
器庫機械製造所ヲ始メ英國ニテ尤高名ナルト  
コロノ工場等ヲ一々巡視點檢シタリ又商法繁盛  
ナル地ニ徘徊シ商人ニ懇親ヲ結ビ英國富強ナル厚  
因ヲ熟知シ大ニ利益ヲ得テ帰國セントス如此實地  
ノ景況ヲ目撃シ富強ノ容易ナラサルヲ知り始テ覺

ラン日本ニテ開化ノ速効ヲ求メ人情世態ヲ計ラズ  
不適當ナル政治改革ヲ成セル弊害アルヲ又此ニ依  
テ今日マテ未ダ大ナル禍ヲ引起サザルヲ幸トセン  
一今此ニ國アリ是マテ封建政体ナリシガ俄ニ之ヲ  
廢シ唯歐洲ニテ行ルル處ノ政治ニ模倣セハ何レノ國  
ニテモ治平ナルヲ甚メ難シ歐洲ノ政体ニ就テ時々新  
規ノ變革アルト米國ノ共和政治ヲ用ユトハ皆人情  
世態ニ依リ自然ノ勢ニ隨テ成ル所ニシテ其情ニ逆ヒ

其勢ニ及レ速効ヲ奏スル者ニ非ス是マテ行ル所ノ  
封建政体ヲ廢セント欲セバ之ニ換ル所ノ郡縣ナリ  
共和ナリ人民ニ適當ナル政治ヲ遠謀熟議シ然ル  
後之ヲ廢スベシ然ラズレテ唯空ク之ヲ廢更セント  
スルハ又卓見ノ智者ト云ベカラズ

第二号

一千八百七十二年十一月十三日

皮膚ノ吸収力

「エギンホルグ」ノ「ドクトル」タムソン氏皮膚ノ鑛泉中ニ含  
タル塩類及ヒ他物ヲ吸収スルニ因テ鑛泉ノ病ニ功  
膏藥ノ未タ功ヲ奏セサル前ニ皮膚ノ為メニ吸収セ  
ラレテ血中ニ入ルト云フ説トニ付キ身自ラ試ミテ曰ク  
是マテ説ク所ノ皮膚ノ吸収力ハ其实ニ過キ水中ニ溶解  
セル物ヲ皮膚ノ吸収スルハ稀レニシテ膏藥ハ皮膚ノ吸収

スル物ト吸収セサル物アリト

「ロンドン、エント、ネイナ、テレグラフ」ニ曰ク日本ノ少年外國ニ  
留学スル一兩三年書物上ニテ些少ノ知識ヲ得クハ  
其学淺ク才足ラスト雖モ本國ニ歸レハ直キニ樞要ノ  
職ニ任ス實ニ留学生ノ論ハ大切ノ事件ニテ後來日本  
以國運ニ關係スル一必セリ現今横濱ヨリ歐羅巴亞墨  
利加一赴ク船大抵日本ノ留学生ヲ乗セカル者十ク彼等  
預メ本國ニ於テ教育ヲ受ケタル一十ク諸國ニ散布

シ人々已ノ隨意ニ學術ヲ習ヒ多ハ一二年ニ過キスシテ  
本國ニ歸ル此ノ如キ方法ニテハ遠カラズ淺学ノ少年  
輻湊シテ皆自ラ大家先生ナリト思想シ外國へ行カサ  
ル者ハ之ヲ蔑視スルニ至ル一ク且人々各己ノ留学セシ  
國風ヲ是トシテ亞墨利加へ行キシ者ハ共和政治ヲ主  
張シ英吉利へ行キシ者ハ立君政治ニ左袒シ自然混雜  
ヲ生ス一シ日本ノ少年預メ本國ニ於テ教育ヲ受ス  
シテ安リニ外國一赴クハ大イナル誤ナリ「シヤンメー」ニ新

大正官  
聞ニ言ハル如ク日本ノ少年ヲシテ先ツ英語ヲ教フル小  
學ニ入ラシメ次ニ高尚ノ學ヲ授ケ檢査ノ上學業大イ  
ニ進歩セシ者ハ外國ニ遣リテ留學セシム一ト約束セハ  
數年ヲ出スシテ大イナル功ヲ奏セン是方今肝要ノ事ナ  
レ氏東京ニ於テ未タ此ノ如キ小學ナク西墨利加人ノ  
惣督セル中學アレ氏之ヲ助ル者教育ノ方ニ練熟セ  
サルニ丑惜イ哉十分ノ功ナシ